



超音波検査～肝臓・胆のうで多い所見～

昨年、令和3年9月のニュースレター（第62号）では、超音波検査について取り上げました。今回は当院の超音波検査で、実際によく見られる所見を取り上げます。

肝臓

★脂肪肝★



お腹の超音波検査で脂肪肝って言われちゃった…。

脂肪肝とは、肝臓に中性脂肪や余分な栄養が蓄積した状態をいいます。



腎臓の外側の部分より肝臓が白く写ります。

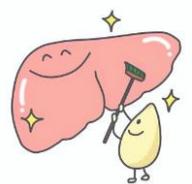


脂肪肝を放置すると…



肝細胞が壊れて、肝機能が低下してしまいます。
検診では、採血でも肝機能検査があります。
その結果も合わせて見てみましょう。

脂肪肝は、生活習慣と定期的な運動などによって、大きな改善効果が期待できます。



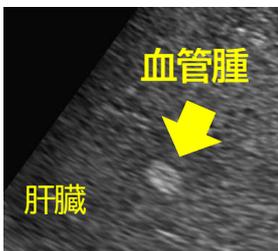
★肝血管腫★



肝臓に血管腫があると書かれていたけど、これはどんなもの？

血管の組織の異常によりできるもので、肝臓にできる良性腫瘍の中では、最も高頻度に見られます。

ただし、肝血管腫のなかには、がんと見分けが付きにくいものがあり、追加の検査が必要になる方がいます。
「精密検査が必要」と言われた時は、詳しい検査をお勧めします。



胆のう

★胆のうポリープ★



毎年、胆のうポリープって言われています。
でも、去年までは経過観察だったのに、今年は精密検査に行ってくださいと言われて…。
同じポリープなのに、なぜ精密検査なのですか？

胆のうポリープは胆のう粘膜に発生した突起物で、大部分は良性です。
変化がなければ、治療を受ける必要はありません。
ただし、ポリープのサイズが10mmを超えている場合などは、精密検査が必要なことがあります。



★胆石★

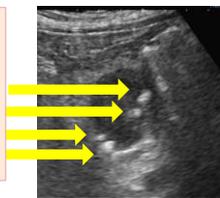


この間の超音波検査で、胆石があると言われました。
胆石って何ですか？

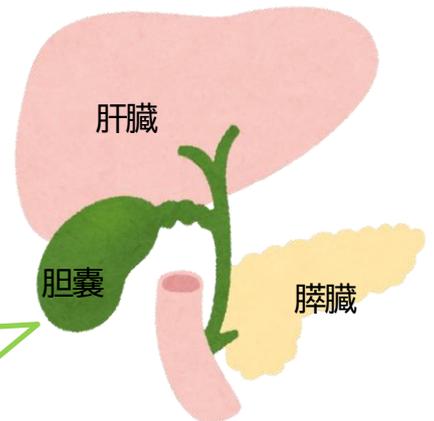


胆石は、胆汁の通り道のどこかで、胆汁成分が固まってできたものです。

この写真では、4個の胆石が見られます。
胆石は体位変換で位置が変わります。



胆のうは、肝臓で作った「胆汁」を溜めています。



胆石の大きさや数によって、胆のう・胆管・膵臓などに炎症が起きて痛みが出ることがあります。
精密検査が必要と書かれていたら、専門医を受診してください。



今後のニュースレターでは、膵臓や腎臓についての超音波特集を予定しています。

健康診断のご予約やご相談は、Tel.03-3668-6806へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。
ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局
Tel.03-3668-6803 / E-mail:mail@soiken.or.jp